

12月の贈り物

信じることは魔法の力



夢咲璃い

Ree Sophia Yumesaki



この度はようこそ、こちらの Ebook にたどり着いて
くださいました。

ありがとうございます。

女性起業家の天命実現をサポートするサイキック、
夢咲璃い（ゆめさき りい）でございます。

この原稿を書いているのは、2016年の12月のある朝
。

現在、自らの仕事以外に、外に勤めに出ているわたくしは、その出勤の途中、JR琵琶湖線に揺られながらの執筆です。

さて、こちらの Ebook は、わたくし、夢咲璃いから皆様への Holiday Season の贈り物として企画いたしました。

サイキックに目覚め、今の夢の道を本格的に歩き始めて間もなくまる10年を迎えるわたくしから、夢を生きる皆様に向けて、夢を信じて生きるにあたって必要なことの幾つかをお伝えするためのものがございます。

まだまだ道半ばのわたくしが、皆様に向けて、何らかのことを語らせていただくのは大層おこがましいことかもしれません。

しかし、この10年間、自分なりに懸命に、ただひたすらに、この夢の道を生きてまいったわたくしにも、皆様にお伝え出来ることがきっとある、そう信じます。

これから、ここでお話しする内容が、何か少しでも、夢を生きる貴女の光明になりますなら、幸いです。

一年で最後の月、この12月に、来たる2017年への希望を最大限に膨らませて、笑顔で明るく過ごしてまいりましょう。

夢を生きる貴女の願いが、然るべきときに、いちばんよい形で実現しますように。

心からの愛と感謝と祈りをこめて

2016年12月

Office Sorae (オフィス ソラエ)

夢咲璃い 拝

1. まるで天地がひっくり返るほど、強烈なものに出逢ってしまったから



わたくしが今の夢を本格的に歩み始めて間もなく10年。

この10年を振り返っての率直な感想は「よくここまで来たなあ」と「10年なんて、あっという間！」。

——そう、この10年はわたくしにとって、まるで「新幹線ののぞみ」のようにあっという間に過ぎていったのでした。

この10年、何がわたくしをここまで駆り立ててきたか、と申しますと、それはただひとえに、2007年にほんの少しだけ、神様に垣間見ることをお許しいただいた、「あまりに眩しく、素晴らしい、天上の世界」に圧倒され、自らもその世界で生きたいと熱望し続けてきたからにほかありません。

生まれてこのかた35年、まるでずっと地を這うかのごとく生き続けてきたわたくしが、サイキックに目覚めた途端、一気に天の高みへと引き上げられ、それから、残りの人生、この世に置いていただいている間、何をすべきかを神様に見せていただいた。

今はただ一日も早く、その次元にたどり着き、そこにいらっしゃる方々と共に手を携え、自らの思いを叶えてゆくことを通して、皆様のお役に立ってまいりたい。
それがこの10年間で、ただひたすらにわたくしを貫くものでございました。

ただ、ひとくちに「10年」と申しましても、この10年間には本当に様々なことがございました。何度も何度も絶望の谷底に叩き落とされ、その度に内なる光に導かれ、励まされ、癒され、なんとか再び立ち上がることを繰り返して、ここまでまいったのが正直なところです。

こんなにも弱いわたくしを、ここまで駆り立て続けてきたものについては、先に書きました。では、なぜ、わたくしがそれをひたすらここまで頑なに信じ続けることが出来たのか？それはひとえに、わたくしが、「今回の人生を決して後悔したくない」、それだけは強烈に、心の底から激しく、揺るがず、思い続けているからだと思います。

なんの保証もない、信じられるのは内なるビジョンだけ。
そんな生き方をここまで続けてこられたのは、この夢こそがわたくしの天命と心から信じ続けてきたからです。
サイキックに目覚めた2007年、それほどまでに強烈なものに出逢ってしまったわたくしは、自らの内なるビジョンを必ず実現したい、ただその思いだけでここまでまいりました。

勿論、これほどまで強烈なものにとらわれてしまっている身であるわたくしがここまでこの夢を信じ続けてこられたのは、他にも、落ち込む度に様々な形で、心を回復させ、「自らの本当の思い」をあきらめないための様々な支えとなる考え方や人生の知恵を知っていたからであり、また、つねに支え、見守り、導いてくださる、目に見えない方々、そして、お親しくさせていただいている皆様のご存在があつてのことです。

この Ebook では、以後、様々な、信じること、そして、自らの本当の思いをあきらめてしまわないための内容を綴ってまいります。

わたくしのささやかな文章が、皆様の信じる力を深め、信じることの魔法の力を皆様がこれまで以上に実感していただけますなら、筆者としてこれほどうれしいことはありません。

聖なる魔法が煌めく、この12月に、この Ebook を通じて、少しでも、夢への思いを高めていただきたいと思いますように。

愛をこめて

God bless YOU!

璃い 拝

2. なぜ「信じ続ける」ことが出来るのか？



ひとはなぜあることを「信じ続ける」ことが出来るのでしょうか？

わたくしは、それはひとえに、「それまで信じ続けてきたからこそ、信じ続けてゆけるのだ」と思います。

この世に存在するものの強さをはかる指標は様々にありましようが、わたくしは中でも、時間の波にあらわれても尚残るものほど強いものはない、常々そう考えております。

ですから、「信じる」ということにおいても、それまで長い間信じ続けてきた、その時間の積み重ねがあるからこそ、その信じる気持ちはそう簡単に揺るがないし、これからも保ってゆけるのだと思うのです。

勿論、何事も「信じ続けてゆく」のは並大抵のことではありません。

自らの変化のみならず、世の中や人々の意識も様々に変化してゆく中で、「信じ続けてゆく」ことには、強い気持ちと、そうし続けてゆくための努力が必要です。

しかし、紆余曲折あれど、それでも、その波間を縫って、細々とながらも、信じ続けてゆくなれば、必ず、その気持ちは強く太く揺るがないものとなり、やがては貴女を取り巻く現実をも変えてゆくほどの力を持つようになるのです。

信じ続けてゆくためには、その精神を裏打ちするだけの行動が必要です。

現実にそうした行動・努力を積み重ねてゆくことで、貴女の信じる気持ちはますます揺るがないものとなってゆくことでしょう。

このように、「信じ続けてゆく」というひとつの生きる姿勢においては、様々な要素が絡み合っています。

けれど、やはり何よりもいちばん大切なのは、「信じ続けてゆく」と覚悟を決めることです。

覚悟と決心、そして、不断の努力。

この三つさえあれば、大抵のことは成ってゆくことでしょう。

それは「信じ続けてゆく」ということにおいてもそうですし、そうして「信じ続けてゆく」なら、必ずや、貴女の人生は素晴らしいものとなってゆくはずなのです。

身体も心もひと一倍弱く、これまで45年生きてきて、自分ほどの泣き虫を知らない、このわたく

しが、今までの10年に渡り、この夢を信じ続けてこられたのは、奇跡としか言いようがありません。

しかし、この夢こそが、わたくしにとって生涯唯一無二だからこそ、ここまで来られたということなのでしょう。

そして、生涯唯一無二である夢をそうならしめているのは、間違いなく、わたくしが今まで10年間必死にこの夢を信じ続けてきたからだ、と思います。

信じ続けてきたから、唯一無二の夢が「本当に唯一無二のものになった」のです。

どうか――、貴女にとって本当に大切なもの・こと・ひとを信じ続けてゆくことをあきらめないでくださいね。

信じ続けてゆくことは思いを刻み続けてゆくことです。

思いにはパワーがありますから、それを刻み続けてゆくなら、そこに素晴らしい神の力が宿るのは何ら不思議なことではないのです。

貴女の信じる力が、神様のご加護とお導きのもと、日に日に強まってゆきますように。愛と祈りをこめて。

God bless YOU!!

3. 「わたしが」ではなく「神様が」



わたくし達は皆、自らの何らかの思いを叶えようとするなら、自ら信じ、努力を重ね、動き続けてゆかなければなりません。

言うまでもなく、そこにはとても強い気持ちが求められますし、ある意味、運も必要でしょう。

「結局、最後までやり続けるひとが勝つ」、とはよく言われることですが、あきらめずに最後まで粘り

強くやり続けてゆく中で、必要な運も備わってゆくのだとわたくしは信じます。

繰り返しになりますが、いずれにせよ、何か、ことを成したいなら、わたくし達は自発的に動き続けてゆかなければなりません。

いつまでも天井を見上げ、夢想家で居るばかりでは、せっかくの成るはずのものも永遠に「絵に描いた餅」状態になってしまいかねません。

しかし、わたくし達は自ら動き続けてゆかなければならない一方で、何から何まで全て、「わたしが」「わたしが」になっては、成るものも成りません。

最低でも10のうち1は、そこに神の御力が介在するようにしておかなければならないのです。全ての領域を「わたしが」で占めてしまうのではなく、10レーンのうち、最低でも1レーンは神様がお通りになれる分として空けておかなければならないのです。

それはなぜか？

それは、どんなに高尚で素晴らしい人物でも、たかだか人間の考えうる範囲など限られているからです。

全てを「わたしが」で占めてしまわず、ほんの少しでもそこに神の御意志が介在するようにするならば、わたくし達は自らが想像するよりも遥か遠くにまでたどり着けることが出来るのです。

この全宇宙を司っておられる神の御知恵ははかり知れず、わたくし達の想像の範囲を遥かに超えます。

だからこそ、この世でどんなことを為すにあたって、そこに神の御力をお招きし、「わたしが」ではなく、人智を遥かに超えた素晴らしい神の御意志が反映してゆくようにしなければならないのです。

わたくし達人間は、天の聖なるご計画の一端を担う存在に過ぎません。

わたくし達がこの世につかわされたのは、自らの持つ特性を生かして、神様のお役に立つため。

だから、決して、神の御手から離れることなど出来ないし、離れてはならないのです。

どうか、いついかなるときも、神様とご一緒にことを為して行ってくださいませね。

そうすれば、きっと、貴女の人生は素晴らしいものになりましょうし、神の恩寵がとこしえにあることでしょう。

貴女は聖なる神の使者です。

ご自分の存在を通して、天の御光をこの世におろすためにも、どうか、つねに神とご一緒にあってくださいね。

愛をこめて。

God bless YOU!!

4. 何はともあれ、まず行動を



これまで自らがずっとスピリチュアリティと共に歩んでまいった中で、つくづく思うのは、夢を叶えてゆける方というのは、ものすごく強い信念（執念とも言う）を持っていらっしゃる御方、何があっても絶対へこたれない、とても粘り強い精神を持っていらっしゃる御方、そして、こうした要素があれば鬼に金棒だなあ！ と心から思うのが、明るく素直で、とっても前向きな御方、です。

その代表的な方として、まず、わたくしの心にいちばんに思い浮かぶのが、あの佳川奈美（よしかわなみ）先生でいらっしゃいます。

わたくしは今年の7月10日に、大阪・梅田の紀伊国屋書店様であった、奈未先生のサイン会に初めて寄せていただいたのですが、まー！ 奈未先生、本当に本当にパワフルな方でいらっしゃいました。

もともと関西・神戸ご出身の奈未先生は、関西人のわたくしから見ても、「同じノリ♪」を感じられる（などと、勝手にごめんなさい！）、とっても明るい素敵なお姉さま、でいらっしゃいます。

先生もまた、これまでとてもドラマチックな人生を歩んでこられたわけですが、先生を先生たらしめているいちばんの要素というか、ご性格は、先生がものすごく素直な方でいらっしゃる、ということに尽きるとわたくしは思うのです。

勿論、わたくしがここで改めて申し上げるまでもなく、奈未先生もものすごい努力家さんでいらっしゃいますし、とってもお強い御心、精神を持っていらっしゃるの言うまでもありません。

けれど、先生を先生たらしめているのは、世の一般的な方々に比べて、「ずば抜けている」と表現させていただいてもよいくらいの、素直さ、まっすぐさ、先生の無邪気なお人柄だとわたくしは思うのです。

夢を見て、夢を信じ、そのための行動、努力を重ねてゆくことはとても大事です。

でも、そうしてゆく中で、心に浮かんでくる様々なアイデアを、一体どれだけ実行していますか？ と聞かれると、「うーん」と唸ってしまわれる方も多いのではないのでしょうか？

例えば、わたくしは、今、この方にこんなことをお願いさせていただけないかしら？ とか、是非あの方にご連絡をとってみたい！ とか、今度あの方にこの企画にご登場願おう！ とか、しょっちゅう心の中を「走り回る」情報というか、アイデアが幾つかあります。

けれど、それを実際に行動に移す……となると、「いやいや、このわたしが？ 恐れ多い」とか、「いやあ、わたしなんかでご連絡を差し上げたら、また“危険なひと”認定されてしまう……！」とか、いろいろと不安やためらい、戸惑い＝つまり、行動をブレーキさせるいろいろな「言い訳」というか、「思い」があるわけですね。

でも、奈未先生はおそらく、「やってみよう！」と思われたら、即行動に移されると思うんです。

それは、まるで、あの宇野千代先生と同じ。

だからこそ、奈未先生はあそこまでタッタカター！ と短期間にもものすごい成功をおさめられたとわたくしは思うのですね。

それがお出来になるのは、なぜ？

なぜ、奈未先生はそんなふうに、思いついたら、即、行動に移すことがお出来になるの？

それはきっと、奈未先生がとってもご自分を愛していらっしゃるからであり、そして、もともと生まれもってのご性格がまっすぐでいらっしゃるといえるか、無邪気な、お可愛らしい部分をお持ちだからではないか？ わたくしはそう常々感じてまいりました。

勿論、ひとそれぞれ、性格には違いがありますから、どなたもすぐ、タッタカター！ と行動に移さない、と言うわけではありません。

けれど、「ああ、これがやってみたいなー！ でもなー、きっと、わたしなんて……！」といろいろひとり勝手にうじうじ思い悩んでいる人生の時間があるならば、それはもしかしたら、ものすごく勿体ないことなんじゃないの？ って、わたくしは思うのです。

現に、これまでわたくしがひとさまに思い切ってお願ひさせていただいて、実現してきたことの殆どが、最初、お声がけさせていただくまで、散々思い悩み、それでもどうしてもあきらめきれず……、で、最終的に、思い切ってお声がけさせていただいて……、で、結果、うまくいった♪ ということが多ございました。

でもね、こんなふうに「即、行動！」と書いてはおりますが、全てが全て、いつでもなんでもことが簡単に進むとは限りませんよ。

思い切って行動してみて、「あちゃー！ やっぱり駄目だったか……orz」となることも多々あるでしょう。

それでも、ひとりぐるぐる思い悩んでいる時間があったら、とりあえずダメもとでもチャレンジしてみて、それで本当にダメだったら、またそのときに次の方策を考えればいい、わたくしはそう思うのです。

ですので、皆様も、そして、わたくしも（←と、自分に言い聞かせております（笑））、何度も心に浮かんで消え、浮かんで消え……、それでも、どうしても拭い去れない思い、こと、何らかのアイデアがおりなものでしたら、とりあえず、思い切って行動に移してみましょ。もしかしたら、そんなふうなアイデアが降りてきたのは、神様からのギフトなのかもしれませんからね。

何事もね、まず、やってみなければ。

動いてみなければ。

心にずっと置いたままでは、それでは永遠にそのまま、です。

この地球上の世界は、動いてなんぼ、です。

臆せず、本当に大切な夢のためなら、勇気をもって、ちゃっちゃと動き続けてまいりましょね♪

貴女の夢がしかるべき時に、いちばんよい形で実現しますように。

愛をこめて。

God bless YOU!!

5. たった一度きりの（今回の）人生、まず自分の心に誠実に



わたくしはもともと生まれ持った性質が非常に激しく、自由奔放、射手座そのものの性格であるため、どうしても「正しくある」とか、「きちんと、まっとうに生きなきゃ」みたいな言葉が苦手でした。

そもそも、生まれ持った霊的背景もかなりフクザツなため、何が正しくて何がそうでないのか？ そこらへんのところをスピリチュアル的に突き詰めてゆくと、もう、しっちゃんめっちゃかになってしまうのです（苦笑）

だから、どうしても「正しいこと」とか「正しく」とか、「堅実に」とか、そういった感じの言葉がとっても苦手でした。

でも、今、心と思ったんですよね。

わたくしが自分で「世間様が言うところの“正しい”という言葉にどうしても無意識レベルから反抗しがちである」ということに対して、「そうではなく、自分自身にとっての“正しい”を生きればいけないの？」って。

どんなときも自分自身に対してだけは、まず、誠実に、正しくあろうって。

それでいいんじゃないの？ って。内

なる声はそう優しく語りかけてくれました。

丁度、今、この記事を書いている2016年の12月は、俳優の成宮寛貴さんが引退を表明されたばかりです。

こうなることのきっかけとなったのは、写真週刊誌のとある報道でした。

それで、あっという間に成宮さんは引退してしまわれて。

これでも、サイキックとして、「芸能界二大セクシー」（＝強烈な引力を持つ人物という意味での）のおひとりであった成宮さんにずっと注目し続けてたわたくしは、今回のことが本当に本当に残念でなりません。

あれほどの存在感を持つ方はそうそういらっしやらないです。

それは、サイキックとしてのわたくしの感覚で、ものすごくよくわかります。

だから、それほどの魅力を持つ彼が、今回こんな形で引退してしまわれたのが、本当になんとも残念で仕方がないのです。

普段、有名人の方の霊的背景についてああやこうやと勝手に書き連ねることはないわたくしですが、成宮さんについても、サイキックとして、今回のことをいろいろと「勝手にお見立て」している部分が実はあります。

その詳細について、ここでは彼の「霊的プライベート」を尊重するために、書くことはありませんが、ただひとつだけ言えるとしたら、今回のことは、彼の生まれ持った「人生の回路図」においては、全く当たり前、というか、至極当然の出来事で、「こんなことになってしまわれました」が、「彼の霊的な歩みの中では、今回の出来事は起こって当然」と言うべきことなのですよ。

彼のコカイン吸引疑惑の真偽はさておき、わたくしは、まず、お心とお身体をくれぐれもまずは養生していただきたいと心から願います。

そしてそして、サイキックでもある彼の「ファン」のひとりとしてひとこと付け加えさせていただけるなら――、彼ほどの御方です、生まれ持ったものをこれから大切に生かしていただくためにも、是非、ご自分の心の声を大切に、これからの人生を歩んでいっていただけたら、と願うばかりです。

ここまで成宮さんのことを勝手に書いてまいりましたが、これは何も彼だけでなく、わたくし達全てに言えることです。

どんなときも、どんな時代に生まれても、わたくし達は結局自らの本当の思いに蓋をして生きてゆくなど、とても難しいことなのです。

勿論、いつもがいつも、全てが全て、思い通りにはならないでしょう。

だって、それが人生ですから。

でも、様々な制約があろうと、その中で、どれだけ自らの思いを出来るだけ穏やかな形でこの世の中に反映してゆけるか、そこはわたくし達ひとりひとりの器量の見せどころなのです。

例えば、世間的に「いけないこと」とされている制約を越えてでも、実現したい、何らかの思い、願い、ことがあったとします。で

も、それを実際、実現させようとするなら、ものすごく非難されるし、自らの立場も危うくなるのなら、そうした制約条件の中で、どれだけそこに自分の意志を反映してゆけるか、ということなのですよね。

全てが全て100パーセント、思いを実現することは難しいかもしれない。

けれど、世間様と上手く折り合いをつけながら、出来るだけ後悔のないよう、ベストを尽くしてゆく。そうして生きてこそ、わたくし達の生命の光は輝くのです。

むしろ、それがどこまで出来るか、が生きることの本当の意味なのではないでしょうか？ 様々なものを抱えながらも、それでもあきらめない。

それが、「人生はゲーム」（フローレンス・スコヴェル シン Florence Scovel Shinn の言葉）と呼ばれる所以なのだと思います。

先の話に戻って、これから「元俳優さん」となられた成宮さんがどんな人生を歩んでゆかれるのか、わたくしなど知る由もありません。

けれど、彼ほどの器を持った方なら、きっと、何らかの形で、またご自分を最大限に生かせる道を必ずや見つけ出されることとわたくしは信じます。

元芸能人さんも、わたくし達一般人も、もとは同じ人間です。

「生きる」という意味においては、そこに大きな差はないことでしょう。

どうか、貴女も、そして、わたくしも、出来るだけ自らの心に誠実に、魂の声につねに耳を傾けながら、それを最大限尊重し、悔いなく人生を歩んでまいりましょうね。

天国の門に立った時、それまでの人生の全ての責めを負うのは、まぎれもなくこの自分自身です。

それだけの重い責任を担っていることを忘れず、限られた命を精一杯輝かせて、この世で生きてまいり

まじょう。

God bless YOU!!

6. 「愛あるところに道が拓ける」



「愛あるところに道が拓ける」。

どなたの言葉だったか、以前、このような言葉を聞いたことがあります。

わたくし達人間は皆等しく、スピリチュアルな存在です。

それを意識しているかどうかは別として、魂としての存在である人間を思うとき、わたくし達は皆等しく

スピリチュアルな存在であり、目に見えない世界と深い繋がりをこの世でも保ち続けていると、わたくしは常々信じております。

勿論、「スピリチュアルな世界」と言えど、それはその方が属する社会や国、文化、地域、習慣等によって様々でございましょう。

例えば、現代日本社会に存在する宗教について、ざっと改めて見渡してみても、古来からの仏教や神道もあれば、キリスト教、イスラム教もありますし、他にも様々な新興宗教があり。

また、所謂「スピリチュアルな世界」（昔でいうところの「精神世界」）も、その内訳は本当に種々雑多、本当に様々で、一体何が真実なの？ と首を大きく傾げたくなることもしばしば。けれど、それぞれがそれぞれに存在する意味があり、わたくしは、その方にとって、いちばんしっくりくる「スピリチュアルな世界」（というか、文化）を生きてゆけばよいのだと思います。

ここでは以下、いつもどおり、「わたくしが信じているスピリチュアルなものの見方、考え方」でお話しさせていただきますが――、そうした霊的な存在であるわたくし達がよりよく人生を生きてゆきたい！！ と願うなら、そのために必要なことは、自らが持つエネルギーをより高いレベルに上げてゆくに尽きる、とわたくしは考えます。

これは何もわたくしが見つけた真実などではなくて、古来より、「スピリチュアルな世界」では言われ続けてきたことです。

天の持つエネルギー＝愛のエネルギー、それが全ての善へと繋がるものであり、この世で生きるにあたって、わたくし達は、天の聖なるエネルギーに少しでも近づこうとすることが、結果、自らの人生をよくしてゆく、ということなのですね。

自らのエネルギーを高めてゆくためには、心を美しく清らかに保つこと、そして、ポジティブに生きることが何よりも必要です。

ここで言う「ポジティブ」とは、何でもかんでもただ闇雲に「ポジティブ！！！！」になるのではなく（笑）、この世におけるネガティブな事象が存在することをちゃんと認識しながら（可能な範囲内で、受け止めつつ、そうしたものがあることを認識しながら）、それでも、神の全き

御力、永遠の天の勝利を信じることを意味します。

それは具体的に言うなら、「ひとには優しく親切に」とか、「つねに物事のプラスの面を見るように心がける」とか、もっと言うなら、「当たり前のように思えることにも、ひとつひとつ感謝の気持ちをちゃんと持つ」とか、そういうことですよ。

そうして自らの波動を高めてゆくことによって、自らを取り巻くエネルギーの流れが変わり、結果、人生がよくなってゆく。

だから、冒頭の「愛あるところに道が拓ける」とは、つまり、己の中を天の愛のエネルギーで満たしてゆくなら、人生が拓けてゆく、ということなのだわたくしは思います。

なかなか、この世には本当に様々なもの・ことがあって、いえ、あり過ぎて、時にそれに圧倒されてしまいそうにもなるけれど、それでも、内なる神を信じて生きてゆくところに、永遠の生きる喜びがあり、だからこそ、神様の祝福にふんだんに預かれることになるのです。

まずは自分を愛のエネルギーで満たす。

そのために出来ることは山ほどあるはずですよ。

“It is better to light a candle than curse the darkness.”

暗闇を嘆くよりも、自ら灯りをともせるひとでありなさい。

エレノア・ルーズベルト（ Eleanor Roosevelt ）の言葉です。

この言葉のように、いつも、自ら光を放てるひとでありたいものですね。

なかなか難しいことですが（苦笑）

でも、やはり、愛あるところに道が拓ける、は本当ですよ。

出来るだけ、心を清く明るく保ちつつ、ご自分を愛で満たしつつ、ご自分の生命エネルギーを高めてゆく行動と選択を積み重ねていってくださいね。

そうすれば、きっと、驚くほどに、人生はよくなるはずですよ！

愛をこめて。

God bless YOU!!

7. 「一寸先は闇」でも……



たとえ、明日のことさえわからなくても……
信じる夢があって、
その信じる夢のために日々ベストを尽くしているなら、
たとえ「失敗しても」、
前向きに倒れることができる。

同じ「負け」は「負け」でも、
わたしはいつも「明日につながる負け方」をしたい。

それに、ベストを尽くしてさえいれば、
きっと神様が善処して下さる。

結果、与えられた道が、今、わたしがゆくべき道。
成長する機会を与えていただいたことへの感謝で心を満たして
笑顔で前向きに頑張ろう。

やるだけのことをやったら、きっと、
あとは神様がちゃんとよくして下さるから。
道が見えなくても、
きっと新たな道を与えて下さるから。

大丈夫、きつとうまくゆく。
とにかく、感謝、感謝、で乗り切ってゆこうね。
頑張れ、わたし！！

8. 「何もない」ことの強さ



幸運にも、タイミングよく、新たにご縁をいただいたかなあ……！ と思っていたら、な—んと！ その幸運は、するりっとこの手から失われてしまいました。

「おおー！ 神様、このタイミングで、なぜ、そんなことをなさる—！？ Oh my gosh!!」と思うのが半分、その一方で、「あらら。またこれで空っぽになってしまったわ。はてさて。どうしたものか。むむむ？」と思う自分も居ます。

でも、もともと、あまりにもタイミングよくいただいたご縁。

タイミングが良すぎて、こここのところ正直「どんづまり」だったわたくしはちょっと怖かったのですよね。

この幸運に自分は見合わないんじゃないか？ って。そしたら、やは—り。

その幸運は、するりっと天に帰ってしまわれたのでした。

ああー、残念。

でも、意外なことに、「今、本当はショックなはず」なのに、からからと気持ち悪いくらいよく笑う、

とっても上機嫌なわたくしが居るんです。

「なに？ 璃いさん、ついに気でも触れたか—！？」って思われますでしょうか？（苦笑）

いえいえ、大丈夫、ちゃんと正常ですよ—。

お陰さまで、この2016年も無事にここまで来られたわけですが、その実、今年のわたくしは結構きつい部分も沢山あったんですよ。

それをなんとか乗り切ってこられたのは、とにかく「一日も早くここを出る！！」っていう目標があったから。

で、その結果、今年の暮れも結局ここでまた過ごすことになってしまった……のですが、それでも、なんて言うのかなあ、一年無事ここまで来られた安堵感からか、それとも、間もなくサイキックに目覚めてまる10年という節目を迎えるからか、今月に入ってから恐ろしく元気なわたくしがおります☆

「目の前の現実」はとっても厳しいんですよ。

今日だって、こんなふうに悠長に文章を綴っている場合じゃないのが本当のところだったりします。けれど、なぜか—、なんていうのかな、「大丈夫！！！」っていう、根拠のない明るさと自信があるんですよ。

ほんと、根拠がないんですけども。

それはね、なぜかというところ—、ハイ、自分なりにその理由について考えるとですね、まず、今月が誕

生月で、つい先日誕生日を迎えたってこともあるのと、それよりも何よりも「この10年間必死で頑張ってきたからねー☆」っていう思いが、わたくしの中で温かな光となって、漸く花開いてきたっていうのかな、そんな感覚があるから、だと思うんです。

その光はね、ここまで10年かけて育ててきたもの。

最初は大きな花火。

ばばーん！ って、夜空に華々しく美しく上がってね。

でも、そのあと、小さな小さな種火みたいに一気に収縮してしまっ。

そこからここまでながーい時間をかけて、必死の思いで、その光を育ててきた。

それが漸く今、暖炉の炎となって、わたくしの心のスペースを温めてくれているんだと思うのです。

今のわたくしは、10年前と同じ。

10年前の今頃も、30歳の頃から5年間積み重ねてきたものを全部手放ざるを得なかったときで、なーんにもなかった。

やっと新たな派遣のお仕事が決まって、ほっとはしていたけれど。

でも、ほんと、何もなかったんですよ。

それくらい、当時のわたくしにとって、30歳からの5年間はヘヴィーすぎて、ほとんど疲れ果てていて。

でも、それからほどなくして、2007年のお正月明けに突然サイキックになって、怒涛の（第二の）人生（？）（笑）が幕開けしたわけなのです。

それから間もなく10年。

そんなわたくしが、今、「よくここまでやってきたよねー♪」だなんて、少しは感慨に浸ってもいいでしょう？（笑）

そう、今のわたくしも「相変わらず、何もない」のが本当のところ、なんだけれど、でも、目に見えない財産はたくさんある、そう自負しています。

ここまで積み上げてきたもの・ことはそう簡単には崩れない。

それくらい必死に努力を重ねてきたから。

だから、今、「こんな」だけれど、こんなにも幸福にいられるのだと思います。

だからかな、「何もないことの強み」というか、それゆえの幸福感を感じているんですよ。

「何もない」ということは、これから「何ものにでもなれる」ということ。

それほど大きな可能性がありましょか。

「何もないわたし、万歳！！」って感じです。

（ほんと、お気楽ですわー（笑））

でもね、そうした境地に辿り着けた自分を支え、導き続けてきてくださった神様、そして、お世話になった方々への感謝の気持ちは、今の幸福感以上に、大きく大きく持っていたいな、と心から思います。だから、この12月もね、せっせせっせと、今年一年お世話になった方々へ、感謝のお便りを出し続けているわたくしです♪

この年の瀬、皆様の思いはどのようなものでしょうか？

「今年一年よく頑張った！」と言う方も、「いやー、今年はほんとついてなくて……↓」とおっしゃる方も、どうか、「まだ何もない2017年」が目の前に開けていることへの希望をお持ちくださいませね。

繰り返しになりますが、「何もない」ということは「何ものにでもなれる」という可能性があるということです。

これほど大きな幸運と喜びがありますでしょうか？ \ (^o^)/ !!!!!

ということで、この12月、わたくし、夢咲璃いは、貴女の未来が素晴らしく輝けるものでありますことを、心からお祈りいたします！

大丈夫、きっとうまくゆきますからね。

笑顔で明るくまいりましょう。

ほら、顔を上げて。

ス・マ・イ・ル！

貴女のおきのお顔を周囲の方々にプレゼントなさってあげてください。

「笑う門には福来たる」、ですよー☆

God bless YOU!!!!!!

9. Answer



この2016年の12月、実はわたくし、「怒涛の日々」を送っております。

まあ、アップダウンの激しいこと、激しいこと……！（苦笑）
今月は誕生日で、せっかくお友達やお知り合いの方からお祝いをしていただいたのに、なのに、なのに、なのに、そうした「誕生日景気」も吹き飛ばすほど、全く心がほわん……♪ とならない、というより、出来ない日々が続いております。

ああ、毎日綱渡り（涙）

でもね、なんだかんだ言って元気なんですよ。

1月は本当に「死んでた」けれど。

でも、12月に入った途端、それまでの停滞が嘘のように動き始めて。

でも、その動きがまた混沌としているんですよー。

ああ……！（涙）

そんな状況にあっても意外と心は晴れ晴れなんです。

でも、やっぱりね、年末でしょ？、誕生日でしょ？

またひとつ歳を重ねたわけじゃないですか？

そうすると、いろーんなこと、いろいろと考えてしまわざるを得ない……というか、嫌でも考えさせられるんですよ。

「成宮くんロス」で、心にぽっかり穴が開いたようになってしまってもいるし。

なんだかこの12月は本当にめまぐるしいです。

つい先日も、改めて自分自身の今の立ち位置を振り返る機会をいただいて、いろいろとこれまた、霊的な感覚まで含めて、今の自分のこと、考え（& 感じ）させられました。

でもねー、どんな「状況分析」が出てこようと、わたくしの心はまーったくおんなじことしか言わないんですよ。

今の夢が具体的になった2007年の12月と全くおんなじことしか言わない。

っていうか、それ以外を認めない。

「何をもってしても、必ず、この夢を叶えよ」と、きっぱり言う。

「たとえ、その結果がどうなろうと、そんなこたあ知ったこっちゃない。やるだけのことをやってダメなら、あきらめもつくだろう？ でも、あんたはまだスタートラインにさえ立っていない。だから、”この夢はこれからどうなる？” だなんて、そんなことを言う資格すらない。もっともっとまだまだやれるべきことはあるはずだ。もっともと頑張れ」

そうとしか、内なる声は言わないんです。

頑固な性分、一度食らいついたら意地でも離さないすっぽんのようななど根性。

自分でもどうしようもないです（苦笑）

でも、死ぬときに後悔だけはしたくない、それだけはズーっと思い続けていることなので、その基準を外れることは、自分では絶対出来ないんですよ。

ちょっとでも気を抜くと、すぐに「ぬらりひょん」（要は「腑抜け」と言いたい）になってしまう怠け者であることは、この自分がいちばんよくわかっているので、安易な道をゆくことを許さないんです。

この年の瀬、ちょこっと休んで、これからのことを改めてよく考えてみたら？ だなんて言おうものなら、「もっと最悪なときはあったはず。今はその時に比べたら断然、力はあるのだから、休むだなんて言うな！」と即お小言が飛んできます。

それくらい容赦ない（苦笑）

そんなだから、おちおち気も抜けないんですよ。

これまでもわたくしは――、自分がエネルギー的に波があるのがよくわかっていて、ダメな時は本当にダメなのをよくわかっているから、調子のいいときに沢山出来ることをやっておこう！！ と、心がけてきたんですよ。

だから、「覚醒しているとき」は、とにかく、出来ることを片っ端からやっておこうって、ある意味、とってもいそがしくて。

その反対に、エネルギーがローで、何も出来ないときは本当に何も出来なくなってしまうから。

それは、心理的なレベル……とかの話じゃなくって、目に見えないエネルギーレベルも含めての話なので、そのこのところの感覚は、自分にしかわからないし、っていうか、なかなかひとさまに説明するのは難しいんですよ。

目に見えないエネルギーレベルの波、その高低、その振り幅のお話なので。

ここまで10年間、ただひたすら、この夢の道を歩んできたわたくしの客観的な評価というのは、おひとによって様々だと思えます。

でも、目に見えないエネルギーレベルも含めての話だと、わたくしは間違いなく、これが自分にとっての出来る範囲内の最善だった、そう断言できます。

それくらい、厳しいものがありましたから。

それでもなんとかここまでやって来た。

それだけは自分で褒めてあげたい、認めてあげたい、そう思っているのです。

でも、現実レベルでのお話になると、まだスタートラインにさえ立てていないのですから、もう問題外、なんですよ。

そこからどうやってこれからの道を立て直しつつ、前に進んでゆくか？、そんなこんなで、この12月はそれこそ目に見えないエネルギーレベルも含めて、激しく揺れ動いているのが本当のところですよ。

とにかく――、現時点で見えてきた答えとしては、とにかく、このままではいけないことは明白で、では、これからどうするべきか？ というと、わたくしは、これまで以上に真剣に自分のエネルギーレベルを高めてゆく……というか、引っ張り上げてゆくしかない、そう思っています。

そして、思うことの全てを、後悔なく取り組んでゆくしかない、とも。

この先、将来、どうなるかはわかりません。

けれど、何度も繰り返すようですが、やるだけのことをやって、それでダメならあきらめもつく。

でも、わたくしはまだスタートラインにさえ立てていないから。

だから、やりたいこと、夢の数々については、とにかく、これまでとは違った次元で努力を重ねてゆくしかない、そう思っています。

後悔だけは絶対にしたくないんです。

まだ間に合うのなら。

ほんの1%でも可能性があるのならば。

わたくしはそこに賭けたい。

これまでどんな思いでここまで10年歩んできたか。

それはわたくしと神様にしかわからないことです。

それだけの思いと覚悟を持ってここまでやってきたのだから。

だから、ここまで歩んできた、歩んでこられた、その自分を信じて、（既に始まっている）「次の10年」に向かうだけです。

今のわたくしにとっての「答え」は「こう」です。

これが間違っているかどうかはわからない。

でも、本当に――！！ 誰が何と言おうと、「後悔だけはしたくない！！」と激しく叫び続ける自分が居るから。

まだほんの1ミリグラムでも可能性が残されているのなら、

わたくしはそこに人生の全てを賭けます。

それくらい強い思い入れがあるんです。

伊達に10年やって来たわけじゃないから。

ほんと、生きづらい生き方なんだろうけれど、これからもわたくしはこうして生きてゆくしかありません。

それが10年目のわたくしの答え。

2016年12月、45歳の答え、なんです。

10. ありがとう ありがとう



今日は冬至（2016年12月21日）。

今日はわたくしの高校時代と大学時代の恩師の先生方、お二人のお誕生日なんです。

偶然、お二人ともご一緒でございまして。

ご年齢はひとつか二つ、違っていらっしゃるけれど。

（高校のときの先生のほうが、ひとつ年上でいらっしゃるかな？）

両先生方、お誕生日おめでとうございます。

どうぞいついつまでもお健やかに、そして、お幸せにいらしてください

ますように。

さて、今日はわたくし、朝からとある目的で、教会にお祈りを捧げに行っておりました。

このところ、また「朝はゆっくり♪」の生活が戻ってきていたのですが、今日は久しぶりに早起き。

なんでも、昨夜寝たのが2時過ぎでしたので、3時間ちょっとの睡眠。

それでも、結局朝うちを出たのが、少し予定より遅くなってしまいました。

途中、濃霧で交通事情が悪かったこともあり、なんとか、当初の予定到着時間ぎりぎりに教会に辿り着き。

その後、しばしお祈りをひとり捧げておりました。

他にも、今日は「年末のご挨拶めぐり」の一日。

朝からうろうろと「自分なりの正装」でお出かけして、帰ってきたときにはそれなりにつかれていたのだけれど（なにせ、3時間睡眠）、帰ってすぐ洗濯機を回して、掃除機をがーが一言わせて。

他にも、衣類の防虫剤をかえたり……、と、結構それなりに「おいそが氏」の一日。

夜になってうれしいお知らせをいただき、ほっと一息。

いやー、これでなんとか来年もやってゆけそうです（！？）

というわけで、今日は一日ひたすら「ありがとう ありがとう」という思いで過ごしておりました。

いい子ぶるわけでもなんでもなく、歳を重ねたせいか、とにかく今は「ひとさん」に支えていただいているなあ、助けていただいているなあ、と思うことがとみに多くなりまして。

<ま、まだまだ人間、器が小さいので、すぐに「ピキッ！」となったり、「むー！？」となったりする、怒りん坊のわたくしなのですが、これでも少しはまだましになったほうなんです。（と、自分で言う）>

この12月、この一年お世話になった方々への感謝の気持ちをお伝えすべく、いろいろとご挨拶にお伺いしたり、お葉書を書いたり、いそがしくしておりました。

でも、それって、ほんと、当たり前のこと、なんですよ。

今年一年無事過ごせたのも、わたくしとかかわりを持ってくださった全ての方々のお陰。

そこにまず感謝の気持ちを注いでゆかないと、2017年、開くはずの扉もスムーズに開かないんじゃないか？ と思えてなりません。

.....などと偉そうに言っているけれど、ご挨拶し忘れていた方がおられないかしら？ と、少し不安に思ったりもします。

一応ひととおりお葉書を出したり、メールを書いたり、直接ご挨拶にお伺いしたり.....はしてきたはず、なのですが。

<もし、未だの方がいらっしゃいましたら、誠に申し訳ございません.....です.....(>_<))>

とにかくね、どんなときも目の前のこと、もの、状況、全てを「当たり前」などと思わず、感謝する。穏やかな、素直な心で居るときのわたくしは、電車を降りるときも、「ここまで運んでくださって、どうもありがとう」とか「椅子に座らせてくださって、ありがとう」と心の中で思うようにしています。そして、お店で買い物をして、店員さんに「ありがとうございます！」と出来るだけ言うように心がけてはいます。

いつもお世話になっている電車、駅、お店、郵便局さん、図書館、病院、薬局さん、コンビニさん、ファミレスさん、などなど。

今年一年の日々の生活を支えてくださった、普段当たり前のようにご利用させていただいている各所にも感謝、ですよ。

<いつの年だったか、かかりつけ薬局さんにもクリスマスカードを持って行きましたっけ(^; お渡しするのに、結構勇気が要って、もじもじしていたなあ(苦笑)>

そうそう、今日はね、とってもお綺麗な郵便局のお姉さんに、「貴女のあまりのお美しさにはとなり、”このままじゃあ、いかん！”と奮起させられました。元気をいただきました。ありがとうございます」などと御礼を申し上げてまいりました。

だって、その局員さん、本当にお人形さんみたいにお可愛らしいんですもの。

ヘアスタイルからメイクからネイルまで完璧。

なおかつ、お可愛らしい笑顔。

もうね、ほんのつかの間の時間、対応していただくだけで、なんだかこっちまで元気をいただいて。

やっぱりお綺麗な方というのは、お花のような御存在ですね。

四十路半ば(のわたくし)も、もっと(身なりを)きちんと出来るよう、頑張ります。

(ほんまか?)

というわけで、この年末はひたすら「ありがとう ありがとう」、の日々でございます。

でも、今日は電車で、ちょっと迷惑気味な感じで立っていらっしゃるご夫婦によくない視線を投げかけてしまったりしておりましたわ(^;

まだまだ人間が出来ておりません(>_<)

とにかく、「ありがとう」は魔法の言葉。(=自分も相手の方も幸せになれる♪)

今年一年お世話になった皆様に、ただひたすらに「ありがとう ありがとう！」です♪

11. 紆余曲折あれど.....



先日、わたくしのブログに書いたことと重なるのですが、前が見えないからといって、立ち止まっていたら、どんどん時間は流れていってしまうんですね。

完全に自分の思う通りに状況が整うまで待っていたりしたら、それこそ百年あっても足りない（苦笑）

そうではなく、たとえ先が見えなくても、思うように動けなくても、それでも「とりあえず」でもいいから、どんどん動いていく。

動きながら、その中で少しずつ軌道修正していく or 自分の思う道をつくり上げてゆく、くらいの気概を持ってですね、どんどんまずは「前に進む」ことが大事、だと思っんです。

9月の上旬で前の派遣のお仕事を辞して以来、早や3カ月。

この3カ月間、何もしていなかったか？ と言えば、決してそうではなく。

自分の仕事（Office Sorae の仕事）を細々と続けながらも、新しい「外でのお仕事」を探してはいたんです。

でも、どうもどれも「ご縁がなくて」。

そんなこんなでもう2016年の年の暮れになってしまいました。

特にこの一カ月ほどの日々は激動続き。

フツーに考えたら、「わたし、この先、一体どうなるんや！？（ガクブル）」となってしまうもおかしくない状況なんです。

それでも、わたくしは、「とりあえず」でも、その時々状況やおひとに感謝しながら、前向きに頑張っってゆけば、きっと道は拓ける、そう信じています。

本当なら、なんでも思い通りになるのだとしたら、来年は一日4時間くらい英語の勉強に費やしたいし、それこそ、自分の仕事の営業をもっともっとかけてゆきたい。

当然、札幌にも出来るだけ早く移動したいし、いろいろと「本当はこうだったら.....！」だなんて思っいは、それこそ山ほどあるのですよね。

けれど、「実際にそう動いたら」、ドツボにはまるのは目に見えているし、今は何よりも再び「まずは、外での仕事を.....！」と思っっておりますので、その方向に従っって動いてゆくしかない。

そうして動いてゆくなかで、また少しずつ「この状況」を打開していったらいいんじゃないか？ っって。

そう思っんです。

これも、つい最近のブログ記事にも書いたことなのですが、2007年の初夏から8月、わたくしが箱根に移動を決めるまでの日々も、本当に紆余曲折でした。

でも、その時々ベストを尽くしてっって、なおかつ、心の声に耳を傾けて、どんどん動いてっいたら

、結局、決めて、たった10日でうちを出ることになり。

それも、それまで家族の誰も行ったことがなかった神奈川県箱根にね。

今でこそ、「箱根は、わたくしにとって“心のふるさと”」などと豪語(?) (笑)しておりますが、それまでのわたくしにとっての「箱根」と言えば、中学の音楽の時間に習った「箱根八里」のお歌の印象くらいしかなく。

箱根を出てからは、毎年お正月にとっても楽しみにしているあの箱根駅伝さえ、「？」と言った感じで、全く興味がなかったのですからね。

そんな縁もゆかりもない土地に、ただただ夢に至る道があると信じて「乗り込んでいって」、結果、わたくしにとって、箱根での日々は、「これまでの人生で、最もかけがえのない、最高に幸せな8か月間」となりました。

でも、当初、箱根にゆくと決めた時は、「そうなる」だなんて、なんの保証もなく。

ただただ、自らの直観というか、夢に向かっての止むに止まれぬ思いを信じて、情熱だけで乗り込んでいったんです。

そしたら、とっても素晴らしく、最高に幸せな日々が待っていた。

あのとき、動いて、本当によかった……！ と、今も心からしみじみと思うのです。

今、この記事を書いているわたくしも、まだまだ「未来は流動的」で、来月のことすら未確定、です。

それでも、自分は確実に今、光に向かって歩いている！！ という熱い気持ちがあるから。

そして、「絶対、自分をこれ以上不幸にさせない！！」という強い思いもあるから。

その時々感謝しつつ、ベストを尽くして、つねに「次の一歩」を地道に重ねてゆくだけです。

そう……、きっと、心に確かなものがあれば、紆余曲折あれど、そして、その過程で失敗したり、傷つくことがあっても、きっと、道は拓けてゆく、わたくしはそう信じています。

だって、これまでの人生だって、いつもそうだったから。

なんの保証もない、ただ心にあるヴィジョンを信じて、ここまで自分でレールを引いてきた……というか、天が引いてくださったレール（但し、いつも殆ど「次のシチュエーション」は見えない）に乗っかってここまでまいりました。

だから、きっと大丈夫。

たとえ、明日、「思うような状況」が待っていなくても、またそこから出来うる限りのベストを尽くしてゆけばいい、というか、「そうしてゆくよりほかない」のだと思います。

わたくしには途方もなく大きな夢があるから。

これからもその夢の実現の為に、未来を信じて、前向きに明るくゆくのみです。

時に自分を奮い立たせながら、ね。

どうか、貴女にも信じるものがあるなら、それをしっかり信じて、これからの道を、たとえ一歩ずつでも着実に重ねていってください。

信じるものがあるひとは強い。

ましてや、壮大な夢があるなら、是非それは実現しないと。

天は決してお見捨てになりません。

神様の全知全能の御力を信じて、これからも前向きに、そして、明るくまいりましょうね。

未来は明るい、未来は必ず拓ける……！ と、信じて。

God bless YOU!!

12. 信じることは魔法の力



信じることは魔法の力を生み出す。

わたくしはそう断言できます。

勿論、この「魔法」が、最終的にどのような作用をもたらすかはわかりません。

けれど、確実に、「信じる」ことには力があります。

そう、そして、それは貴女の未来を明るく切り開く魔法の鍵でもあるのです。

サイキックに目覚め、この夢に出逢って、間もなく10年。

おひとの人生、様々なことがありましようが、わたくしの「この10年」も波瀾万丈、でこぼこだらけ……、というか、殆どがずーっと断崖絶壁を恐る恐る一步一步進んできたようなものでした。

時に、絶望という名の谷底に叩き落とされ。

その度にそこから泣きながら這い上がってきたのは、何があってもこの夢だけは絶対あきらめちゃいけない、ただそのひとつの思いがあったからでした。

身体も心も弱く、ひと一倍泣き虫なこのわたくしがここまで来られたのは、まさに奇跡としか言いようがありません。

もっとも、今、現在だって、まだまだ夢に辿り着けてはいません。

最低限「ここまでは」という、ひとつの指標となる地点にさえ、まだ辿り着けてはおりません。

それでも、それでも、なんです。

ここまでこの夢だけを信じて、そして、この夢のためだけに、わたくしは過去10年生きてまいりました。

何度もあきらめそうになったし、何度も言いようのない思いを味わい尽くしました。

誰も頼ることが出来ず、信じられるのは、ただ、神様と、弱っちい自分ひとりだけでした。

それでも、他のありとあらゆるものを犠牲にしてでも、絶対、生涯かけて、この夢だけは叶えたい。

だから、ここまで、その思いひとつだけでまいりました。

まだまだ夢に辿り着けてはいないけれど、でも、そんなわたくしでも確実に言えることは幾つかあります。

夢を生きることは本当に素晴らしいこと。

夢を生きることで、ものすごく自分が成長できること。

夢を応援してくださる方々がいらしてくださることの有り難さ。

その方々の温かな思いを無駄にしないためにも、つねに、今、自分に何が出来るかを考えて行動し続けてゆくことの大切さ。

そして、そして、夢を叶えるために、何よりも必要なのは、自分を信じること、であること。
それプラス、どんなことにも絶対負けない、強い、粘り強さ、不屈の精神、が必要であること。

そう、夢を生きるとは、自分を信じることと同義なんですよ。
どこまで自分を信じられるか。
そこに全てはかかっているんです。

どんなに不甲斐なく、情けなく思えても、それでも、そんな自分を温かく包み込み、励まし、明日への
一歩を明るく照らすのは、他でもない自分自身です。
だからこそ、最愛のひとを愛するように、大切な我が子を育てるように、そして、大親友を励ますよ
うに、自分と接していくことが必要なんですよ。

自分を信じる、とは、究極的には、内なる神を信じる、ということに繋がります。
どんな自分をも温かく受け止め、肯定し、敬意をもって尊重し、根気強く励まし続け、どこまでもより
高みに辿り着けるよう、育て続けてゆくこと。
そうして生きる者を神は決してお見捨てにならない。
だから、いつしか、そこに神の恩寵が宿り、奇跡とも呼べるほどのことを成してゆけるのだとわたくし
は信じます。

そう、信じることが奇跡を生む、魔法の力を生み出す、というのは、結局のところ、そうして生きる
ところに神の介在があるからなんですよ。
神様の御手が働いてくださるから、だから、ミラクルも起きるんです。

どうか、この聖なる季節、皆様もそれぞれご自分の中に、この宇宙全体を創造なさった神の素晴らしい
無限の力が存在していると、今一度信じてみてください。
その思いは、必ず、貴女を、想像以上にはるか遠くまで運んでくれることでしょう。

貴女の未来が素晴らしく輝いていることを心からお祈りして。
いつも貴女に神様の祝福と御恵みがありますように。

愛と祈りをこめて。
God bless YOU!!



最後までこちらの Ebook をお読みくださいました貴女に、心から深く感謝を申し上げます。

そして、こうして、今年一年、わたくし、夢咲璃いと貴重なご縁を繋いでいただきましたこと、本当にうれしく、また有り難く思っております。本当に、本当に、ありがとうございます。

こちらの Ebook はいかがでございましたでしょうか

？

何か少しでも、夢を生きる貴女のお心に温かなものをお届けできたのであれば、筆者としてこれほどうれしいことはありません。

どうか、来たる2017年も、貴女と貴女の大切な方々にとって、また一步夢に近づける、素晴らしい一年となりますように。

貴女と貴女の大切な方々のご健康と更なるお幸せを心からお祈りしつつ、この Ebook 最後のご挨拶にかえさせていただきます。

心からの愛と感謝をこめて

貴女の心にいつも希望の光が燦然と美しく輝いていますように！

God bless YOU!!

2016年12月

Office Sorae (オフィス ソラエ)

夢咲璃い 拝